

# 一般質問通告書

No.1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

2017年8月22日  
東村山市議会議長様

議席番号 14 番  
質問者 白石えつ子

## 記

番号	質問の項目と要旨
1.	<p data-bbox="363 815 948 851"><b>障がい者の可能性を引き出せる農福連携</b></p> <p data-bbox="336 913 1401 1088">平成 29 年度厚生労働省では、農業分野での障害者の就労を支援し、障害者の職域拡大や収入拡大を図るとともに、農業の担い手不足解消につながるため、障害者就労施設へ農業の専門家の派遣、農業に取り組む障害者就労施設によるマルシェの開催等の支援を実施するとあります。</p> <p data-bbox="336 1104 1401 1323">障がい者も共に地域でつながることで、農福連携を取り入れている自治体も増加傾向にあります。全国で障害者総数約 788 万人の内、就労年齢とされる 18～64 歳の在宅者数：約 324 万人（内訳：身体障害 111 万人、知的障害 41 万人、精神障害 172 万人）。在宅者の中にも働き手になるうる人材はいると考えます。</p> <p data-bbox="336 1339 1401 1424">障がい者も参画できる農福連携で共に働く場実現に向け、質問していきます。</p> <ol data-bbox="336 1485 1401 1906" style="list-style-type: none"><li>1. 東村山市の農業人口と平均年齢を 10 年前との比較と近隣他市での傾向はどのような傾向か。</li><li>2. 今後人口減少に向け、東村山市の農業を生業としている方々の後継者問題をどう捉えているか？</li><li>3. 農地を福祉事業所に借用している事例はあるか？</li><li>4. 全国で増加している農福連携の成功事例を伺う。</li></ol>

5. 障害者法定雇用率が平成 30 年度から引き上げが予定されている。雇用率が伸びない知的、精神障がい者の新たな働き場として農業分野への参入で雇用拡大を図るべきと考えるが市としてどう捉えているか？
6. 東村山で（18歳～64歳）在宅している障がい者数を伺います、近隣他市と比較してどのようか伺う。
7. 東村山市での農福連携を行う上で課題は何か見解を伺う。

## 2. 発達障がいの早期発見、早期療育の充実を

東京都では、乳幼児期の健診の在り方で発達障がいの早期発見、早期療育実現を施策に上げています。

東村山市でも多くの子どもたちが3歳児以降、集団生活を経験する中で、行動特性の偏りの現れ。保護者にも育てにくさが芽生えてくる年齢での気づきによる的確な発見・療育ができる年齢での判断も重要です。行動観察等でのアセスメントを基に集団の中で就学までの相談・支援・準備期間を確保するには、3歳児健診率の徹底で見過ごされやすい発達障がいの早期発見、早期療育実現のため、現在の健診の現状について質問していきます。

1. 東村山市での平成 26,27,28 年度出生数、3歳児健診時発達障がい児の割合を伺う。
2. 発達障がいの早期発見、療育のため3歳児健診の時に、発達障がいに関する項目を問診表に設けているか伺います。
3. 3歳児健診の平成 26,27,28 年度受診率と健診内容を伺う。
4. 東村山市で平成 28 年度実施した子育てに関するアンケート送付の背景、根拠を伺う。
5. 子育てに関するアンケート回収率と回答結果をどう分析しているか？

6. 発達に課題を抱えている子どもへの療育内容や保護者へのケア、アウトリーチはどのようにおこなっているのか伺う。
7. 近隣、東京都東大和市でも5歳児健診が実施されています。  
5歳児健診の必要性をどう捉えているか見解を伺う。